

公益財団法人仏教伝道協会

平成 28 年度事業計画書

公益財団法人仏教伝道協会は、日本文化の基本でもある慈悲と共生の仏教精神と仏教文化とその学術振興を促進し、現代的理解を弘め、グローバルな啓蒙活動を通して豊かな人間性を育て、より良い社会形成を推進し、もって人類の幸福と世界平和の実現に貢献することを目的とし、その目的を達成するため、定款に定める事業に沿って「平成 28 年度事業計画」を立案する。

1. 公益目的事業計画（公 1）

1. 趣旨（目的）まとめた理由

仏教典籍の現代語訳、外国語訳を行いその刊行、普及事業や仏教関連の各種講座、研究会の開催による仏教精神の啓蒙活動、さらに仏教音楽祭などによる仏教文化の興隆と継承活動、また仏教精神、学術、文化の振興に積極的に関わってきた個人、団体への顕彰・助成等いろいろな支援事業を通して世界中の一人でも多くの人に理解して頂き、豊かな人間性を育て、より良い社会形成促進をもって人類の幸福と世界平和の実現という共通の目的達成の手段であり下記の 2-1) から 2-3) までの事業は、つながりのあることから一つにまとめている。

2. 事業

2-1) 仏教典籍の現代語訳及び外国語訳による編集とその普及事業

1. 「仏教聖典」現代語訳、外国語訳刊行、頒布事業に関する事項

◇「仏教聖典」各国語訳とその出版について

全世界に「仏教思想」を伝えるべく、「仏教聖典」の翻訳改訂を進めている。現在、翻訳言語数は 46 言語に及び、翻訳と共に既刊の「仏教聖典」をより現代に即した内容にするための改訂編纂に努めている。平成 28 年度はチベット語、モンゴル語（キリル文字）、アラビア語、ポーランド語、ミャンマー語等の改訂を進める。また、今後予想される情報メディアの多様化に対応するために、「仏教聖典」のデータ化を進める。

◇「仏教聖典」の普及について

世界の主要ホテルの客室に「仏教聖典」を寄贈常備する活動を行っている。

平成 28 年度は国内外のホテルへ約 65,000 冊（国内 30,000 冊、海外 35,000 冊）の寄贈を予定している。また、病院、社会福祉施設、行刑施設、公共機関等への

寄贈活動も継続し、寄贈数は 8,000 冊を予定している。

仏教系学校および保育施設への聖典普及については、継続してその頒布に努めると同時に、「仏教聖典」のやさしい解説書として、仏教聖典編集委員が中心となり執筆・編集した『さとりの知恵を読む-仏教聖典副読本』の授業や公開講座での活用を目的とした寄贈活動を推進する。

2. 英訳大蔵経の刊行、頒布事業に関する事項

欧米をはじめとする英語文化圏に向けての、仏教精神の理解と普及のため「集大成された仏典」である『大正新脩大蔵経』の英訳刊行事業を日本の仏教伝道協会と米国仏教伝道協会の共同事業として進めている。日本の英訳大蔵経編集委員会と米国の英訳大蔵経出版委員会の協力のもと、第一期分として全体量の約 10 分の 1 に相当する 139 典籍の翻訳・刊行を進め、これまでに米国仏教伝道協会より、82 典籍 49 巻を刊行している。既刊典籍の PDF データを HP 上で公開し、英訳大蔵経の利便性・公共性を高めている。また東大が中心に進めている大正新脩大蔵経テキストデータベース研究会（通称：SAT）に英訳データを無償提供し、Web 上での電子大蔵経のプロジェクトを支援している。なお、平成 28 年度は第 50 巻目となる『弥勒下生経・文殊問経』等の出版、新刊毎に約 200 冊の国内頒布を予定している。

3. その他仏教書籍の出版、頒布に関する事項

仏教の精神文化の裾野を広げるため全国の寺院、学校、保育施設等へカレンダー・仏教書籍を制作、頒布している。

「仏教聖典」や古今の名言から選んだ『一日一訓カレンダー』は、平成 28 年度は 152,000 部を印刷、その内 118,000 部を全国約 1,000 ヲ寺に頒布し、残りの 34,000 部を国内外のホテル、病院諸施設等に寄贈する予定。

カレンダーに掲載する写真については、平成 27 年度の第 2 回フォトコンテストで入選した作品を使用。平成 28 年度も第 3 回フォトコンテストを実施し、入選作品は、築地本願寺、ギャラリー等での一般公開を予定している。

次に、カレンダーの解説書として『みちしるべー正命』（著者 曹洞宗長徳寺住職 酒井大岳師）を刊行し約 50,000 部の頒布を予定。平成 29 年度発刊予定の『みちしるべー正精進』は、小山一行師（浄土真宗本願寺派 武蔵野大学教授）に執筆を依頼した。

また、平成 28 年度は新企画として、今までになかった低年齢層を対象とした教材の開発に取り組む。幼稚園から小学校低学年向けの書籍として、子どもに伝えたいことを親子で学べる『ブツダがせんせいー心を育てる子ども仏教塾』（永岡書店）を普及版の装丁で再編集し、保育施設や寺院に頒布する。

さらに、幼稚園向け教材として、鈴木出版(株)の協力のもと、第 1 回「こころの絵本大賞」を開催する。

一般公募の中から選ばれた大賞受賞作品については、書籍化を予定している。

2-2) 仏教精神と仏教文化とその学術振興の促進に対する助成と表彰事業

1. 留学生奨学金制度に関する事項

◇外国人留学生奨学金制度について

奨学生が自国に戻り日本で学んだ仏教精神とその文化を広く伝えて戴きたいとの願いから、日本で仏教学研究を希望する外国の学者・研究者または学生に対して、外国人留学生奨学金交付制度を設けている。

平成 28 年度奨学生の募集は、平成 27 年 10 月 1 日から国内外の有名大学や研究機関へ留学生奨学金案内書と推薦書を約 150 通送付して依頼及びホームページで一般公募を行い、21 名の申請があった。

平成 28 年 2 月 8 日に外国人留学生奨学金審査委員会を開催し、次の 2 名が選ばれ、平成 28 年度外国人留学生奨学金の支給を実施する。

受給者① 氏名：Katarzyna Marciniak 国籍：ポーランド

日本での所属機関：創価大学・国際仏教学高等研究所

指導教授：辛嶋 静志 先生

研究内容：大衆部説出世部（マハーサーンギカ・ローコッタラヴァーダ）の文献『マハーヴァストゥ』の仏教梵語を、最古の写本二本（MS Sa, MS Na）を使用し研究予定。

受給者② 氏名：Emanuele Davide Giglio 国籍：イタリア

日本での所属機関：東京大学

指導教授：蓑輪 顕量 先生

研究内容：日蓮撰『諸法実相鈔』（真蹟非現存および真偽未決）に関する方法的・書誌学的・思想史的研究。

◇日本人留学生奨学金制度について

平成 25 年度から日本人の学者や研究者が海外の大学や研究機関にて仏教精神とその文化を学び、将来世界のこの分野で大きく貢献してくれることを期待して日本人留学生奨学金制度を設けている。

平成 28 年度奨学生の募集は、平成 27 年 7 月 1 日から国内外の有名大学や研究機関へ留学生奨学金案内書と推薦書を約 150 通送付して依頼及びホームページで一般公募を行い、6 名の申請があった。平成 27 年 12 月 11 日に日本人留学生奨学金審査委員会を開催し、次の 3 名が選ばれ、平成 28 年度日本人留学生奨学金の支給を実施する。

受給者① 氏名：中上 淳貴

海外での所属機関：ハンブルク大学（ドイツ）

指導教授：Dorji Wangchuk 先生

研究内容：チベット仏教における宗教実践と教理テキストの関係を研究し、『黒蛇千網』をはじめとする文献読解を行う。

受給者②氏名：堀内 俊郎

海外での所属機関：ハンブルク大学（ドイツ）

指導教授：Dorji Wangchuk 先生

研究内容：『楞伽經』第2章前半部のサンスクリット原典の5本の写本に基づく校訂とチベット語訳として残る2つの注釈書（智吉祥賢・智金剛）に基づく思想研究を行う。

受給者③氏名：松岡 寛子

海外での所属機関：ライプツィヒ大学（ドイツ）

指導教授：Eli Franco 先生

研究内容：カマラシーラ著『摂真實論釈』「序章」及びヤマーリ著『プラマーナ・ヴァールツェィカ』、『アランカーラ・ニバンダ』「序章」第1節〈緒言論〉の批判的校訂梵文本、註釈及び論考を完成する。

2. 顕彰事業に関する事項

仏教伝道文化賞は、国内外を問わず、仏教精神、仏教文化、仏教学術及び布教伝道など仏教に関わる幅広い分野で貢献された方がたの功績を讃え、また今後のさらなる活躍を願い表彰する賞として昭和42(1967)年に創設された。

長年に亘って仏教伝道文化に貢献のあった方または団体に「仏教伝道文化賞」を、また今後の仏教伝道を通じた文化活動の振興が、大いに期待できる方または団体に「仏教伝道文化賞 沼田奨励賞」を授与する。

平成28年度は10月に贈呈式の挙行を予定し、4月初旬より国内外の仏教各宗派、大学等の教育機関、研究機関、仏教団体、報道機関、政府機関及び専門家等に推薦依頼状を発送して、「仏教伝道文化賞」及び「仏教伝道文化賞 沼田奨励賞」の推薦を受け、7月に仏教伝道文化賞選定委員会を開催し、平成28年度の受賞者を決定する。

3. 助成事業に関する事項

当協会の事業目的と同じ目的を持ちその活動を積極的に展開している個人及び団体を選定し、当協会の目的とする事業実現のため国内外で助成支援を行う。助成にあたっては、外部有識者や専門家からなる助成金審査委員会のもと、公正な審査を経て選定、助成する。

平成28年度助成対象（平成27年度後期募集分、交付時期平成28年5月頃）を審査するため、平成28年2月16日に助成金審査委員会が開催され、審議の結果、下記の団体にそれぞれ助成金を交付することが決定し、平成28年度は国内総額で7,000,000円、海外はUS\$250,000、£30,000、€130,400、CD\$168,000の助成を実施する。

国内（平成 27 年度第 2 回助成金審査委員会決議分）

団体名	申請事業名称
（公財）全国教誨師連盟	教誨師の研修事業
東京親鸞会	東京親鸞会活動助成
日本印度学仏教学会	学会の情報化対応を通じた国際的学術交流及び文化貢献の促進事業
南無の会	南無の会活動助成
（公財）中村元東方研究所	中村元東方研究所 研究助成事業
（一社）お寺の未来	お寺おやつクラブ活動助成
（一社）向源	寺社フェス「向源」実行事業助成
インド哲学研究会	日本の仏教論理学研究成果を世界に発信する website の構築事業
寺子屋ブツダ	高座バトル活動助成
十夜フェス実行委員会	十夜フェス実行事業助成

海外（平成 27 年度第 2 回助成金審査委員会決議分）

団体名	申請事業名称
Institute of Buddhist Studies （米国仏教大学院）	『パシフィックワールド』出版事業
UC Berkeley Center for Buddhist Studies （UCバークレー仏教学センター）	沼田智秀仏教書籍優秀賞
The University of Chicago Divinity School （シカゴ大学神学部）	沼田仏教講座活動助成
仏母寺	VisionQuest プログラム「日本禅仏教：思想・文学・芸術」実施助成

助成金分割交付分

団体名	申請事業名称
Institute of Buddhist Studies （米国仏教大学院）	沼田恵範教授基金
UCLA Center for Buddhist Studies （UCLA 仏教学センター）	沼田恵範仏教講座基金

SOAS, University of London (ロンドン大学東洋アフリカ 研究学院)	沼田仏教講座専任教授職設立事業
University of Vienna (ウィーン大学 南アジア・チベット・ 仏教学部)	沼田仏教講座基金
University of Vienna (ウィーン大学 南アジア・チベット・仏 教学部)	沼田仏教講座活動助成
Universität Hamburg (ハンブルク大学)	沼田仏教講座専任教授職設立事業
McGill University (マギル大学)	沼田仏教講座基金

なお平成 28 年度 11 月頃助成審査対象分（平成 28 年度前期募集分：申請時期平成 28 年 6 月 1 日から 9 月 30 日）として 200 万円の予算を別途設ける。

2-3) 仏教精神とその文化興隆にかかわる啓蒙活動と支援事業

1. 啓蒙活動としての仏教関連講座、セミナー、研究会等の運営に関する事項

◇仏教聖典を初歩英語で学ぶ会について

英語を通して仏教精神を学ぶことを目的とし、ホームページ、業界新聞、行事チラシなどで案内し、参加費 500 円で平成 23 年 9 月より月 1 回（8 月を除く毎月第 4 木曜日、午後 6 時 30 分から午後 8 時まで）「仏教聖典を初歩英語で学ぶ会」を開催している。

平成 28 年度は、ケネス・田中氏（武蔵野大学教授）を講師に「ユーモア、マンガ、歌に学ぶ仏教」をテーマに英語を交えながら仏教を学ぶカリキュラムを実施する。また、参加者の勉学向上を促進するため、「Buddhist English Guide 認定」を設定し、国際社会に向けて寺院等で英語によるガイドができる人材育成にも貢献する。

◇実践布教研究会について

日本仏教の祖師がたが歩まれた道を、現代に生きる僧侶たちが自ら体験することによって、聞・思・修一体となった仏道を体験していただき、仏教の現代的理解の促進、ならびに各宗派の僧侶間の交流を推進すべく、各宗派の本山を会場に毎年 1 回 2 泊 3 日にて実践布教研究会を開催しており、現在までにその開催実績は 45 回を数える。

平成 28 年度は 6 月 1 日(水)から 6 月 3 日(金)まで、第 46 回実践布教研究会として法相宗大本山薬師寺を会場に「布教伝道～玄奘三蔵と鑑真和上に学ぶ～」をテーマに開催する。今回の分科会では、「経済基盤の喪失と寺の存続」をテーマに掲げ、討議する。

◇仏教聖典を生活に活かす会について

仏教精神を日常生活に活かすことを目的としてホームページ、業界新聞、行事チラシなどで案内し、「仏教聖典」を基本教材に、毎月1回(原則、第4木曜日、午後1時30分から午後4時まで、講話・質疑応答・座談会を含む)専門家の講師を招き、「仏教聖典を生活に活かす会」を主催運営する。講師は、一島正真氏(天台宗勧学)とケネス・田中氏(武蔵野大学教授)。

◇仏教聖典を経営に活かす会について

仏教精神を学び事業経営に活かし、また人生の道標の一助とすることを目的とし、おもに事業経営者や社会人を対象にホームページ、業界新聞、行事チラシなどで案内し、「仏教聖典」を基本教材に、毎月1回(原則、第3水曜日、午後6時から8時まで、講話・懇談会含む)専門家の講師を招き、「仏教聖典を経営に活かす会」を主催運営する。講師は、木村清孝氏(東京大学名誉教授)と逸見道郎氏(浄土真宗本願寺派浄土寺住職)。なお9月には、日本仏教への理解を深めると同時に参加者同士の交流をはかることを目的に、「仏教聖典を生活に活かす会」の参加者と合同で、寺院等を訪問し、研鑽する「秋季研修会」を開催する。

◇働くひとのための坐禅会について

平成25年度より「忙しい女性のための坐禅会」を企画実施し、平成26年度から、参加者の枠を広げ、男女混合の「働くひとのための坐禅会」を参加費月500円で実施、勤務している人の参加し易い時間に坐禅会を設定していることから、高評価を受けている。

平成28年度も阿純章氏(天台宗圓融寺住職)を講師に招き、仏教聖典を使用した法話20分、坐禅40分、茶話会30分の構成で同坐禅会を継続するとともに、ホームページ、業界新聞、行事チラシなどより効果的な宣伝を行い、参加者増員に努める。

◇BDK シンポジウムの開催について

平成25年4月から、一般の方がたにより仏教文化、仏教精神の素晴らしさを広く知って頂く機会を提供する為、シンポジウムを企画、ホームページ、新聞、行事チラシなどで案内し実施している。

平成28年度はテーマを「ココロのゆくえ」とし、仏教、教育、医学の分野から、横山絃一氏(立教大学文学部名誉教授)、水谷修氏(夜回り先生)、有田秀穂氏(東邦大学医学部名誉教授)にそれぞれ講演していただき、人間の「心」について一緒に考える機会作りをする。

1) 平成28年5月26日(木)

「ココロのゆくえ×仏教：深層心からの健康」

講演者：横山絃一氏(立教大学文学部名誉教授)

2) 平成 28 年 9 月 13 日 (火)

「ココロのゆくえ×教育:

今、病みゆく子どもたち…宗教に求められていること」

講演者: 水谷 修 氏 (夜回り先生)

3) 平成 29 年 3 月 10 日 (金)

「ココロのゆくえ×医療: 坐禅をセロトニン神経から読み解く」

講演者: 有田秀穂 氏 (東邦大学医学部名誉教授)

◇BDK 仏教ヨガ講座の開催について

平成 27 年度より、健康や美容という視点のみに焦点が当てられていたヨガを、釈尊が実践していた修行体系 (呼吸法) の一つであることに戻り、浄土宗僧侶でヨガインストラクターの資格を持つ Yuuka (ガッソ有香) 氏を講師とし、当協会独自のヨガとして仏教に焦点を当て、参加費 500 円で 4 月より月 1 回 (8 月を除く毎月第 1 水曜日、午後 7 時 00 分から午後 8 時 30 分まで) 仏教ヨガ講座を開催。平成 28 年度も Yuuka 氏を講師に招きホームページ、各メディアなどで広く案内し実施する。

◇公益財団法人 仏教伝道協会 特別講演会の開催について

多くの方々と仏教の架け橋となるべく、池上彰氏 (ジャーナリスト・東京工業大学教授) とひろさちや氏 (宗教評論家) を講師として迎え、「世界の人々の生死観」 (仮) をテーマとして、特別講演会を開催する。ホームページ、新聞、行事チラシなどで広く一般に案内し、1,000 人以上の来場者を集め、日本国内と世界から見た生死観を比較し、私達は何をよりどころとして生きてくべきなのか考えて頂く機会とする。

◇ミャンマー語『仏教聖典』贈呈式の開催について

民主政権が誕生したミャンマーでは、海外からの投資や企業進出の急増に伴いホテルも増えている。この機に、当協会の活動賛同者を募り贈呈団 (約 30 名) を結成し、現地訪問し、ミャンマーホテル協会 (Myanmar Hotelier Association) への「仏教聖典」贈呈式を行い、加盟ホテルへ聖典の寄贈を行う。

◇一般向け宿泊型仏教研修会の開催について

平成 28 年度の新企画として、当協会が長年運営してきた“実践布教研究会”のノウハウを活かし、実際に寺院を訪れ僧侶たちがおこなっている修行の一端を体験することにより、より仏教への理解を深めていただくことを目的に、一般の方がた向けの修行体験を交えた 1 泊 2 日の宿泊型研修会を企画、実施する。ホームページ、各メディアなどで案内し、プロの旅行会社の助言を得ながら、より一般感覚に沿った企画を考案する。平成 28 年 11 月前後の開催を検討している。

◇仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」の開催について

平成 28 年度の新企画として、仏教の基本的な知識に触れることの少ない方を

対象とし、日本仏教の各宗派の基本的な教義や宗祖について学ぶ、仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」を開催する。当協会ホームページ、各種新聞、行事チラシなどで案内し、平成 28 年 4 月から同年 11 月まで月 1 回（8 月を除く。毎回午後 7 時 00 分から午後 8 時 15 分まで）全 7 回を開催する。開催日程、各回の講師等については以下の通り。

開催日程	取り扱う宗派・宗祖	講師名
4 月 22 日（金）	天台宗・最澄	阿 純章 氏
5 月 24 日（火）	真言宗・空海	渡邊弘範 氏
6 月 13 日（月）	浄土宗・法然	東海林良昌 氏
7 月 8 日（金）	浄土真宗・親鸞	前田壽雄 氏
9 月 30 日（金）	臨済宗・栄西	松山大耕 氏
10 月 24 日（月）	日蓮宗・日蓮	蓑輪顕量 氏
11 月 21 日（月）	曹洞宗・道元	千葉公慈 氏

◇仏教ヨガフェスタ

定期的で開催している「仏教ヨガ講座」を、集客人数を拡大して寺院で開催。ヨガ講座の他、坐禅や精進料理、法話などを体験していただき、ヨガを通じてより多くの方に仏教文化や仏教精神の素晴らしさに触れる機会を提供する。開催時期は平成 28 年 11 月頃を予定。ホームページ、行事チラシなどで案内する。

◇書道と禅のワークショップの開催について

平成 27 年度より、人気の高い書家（鈴木猛利氏／武田双雲氏）による書道教室と、僧侶（松原信樹氏）にその文字について解説や説教をしていただくワークショップを実施し、仏教文化に触れていただく機会を一般の方に提供。

平成 27 年度は、ワークショップを 2 回実施し、約 100 名の参加者があった。

平成 28 年度は、僧侶（未定）と書家（武田双雲氏）を講師とし、ワークショップを 1 回実施。ホームページ、業界新聞、行事チラシなどで案内し、参加者を募る。平成 29 年 2 月での開催を予定している。

◇仏教香道講座の開催について

平成 28 年度の新企画として、仏教と一緒に日本に伝来した「香」についての講座を開催する。仏教の祈りの儀式に欠かせない品のひとつとして発達してきた香を仏教の歴史と共に振り返り実際に体験することで、仏教文化や仏教精神に触れていただく機会を提供する。香に関する執筆や、講演活動を行う稲坂良弘氏を講師に迎え、7 月 12 日（火）に開催する。ホームページ、行事チラシなどで案内する。

2. 仏教音楽の現代化とその普及事業について

伝統的宗教音楽を継承すると同時に、仏教音楽の現代化を進め、広く仏教精神とその文化に親しんでいただくことによって、仏教的基盤の確立を目指し、仏教

音楽にちなんだコンサートや、新しい仏教音楽の作品募集などを行っている。

平成 28 年度は、より多くの方に仏教音楽に親しんでいただくため、音楽作品募集の企画と平成 29 年度のブツダスペルの内容につき音楽普及委員会にて会議、企画する。

3. 三田落語会の事業について

仏教説話や寺社を舞台とする古典落語を交えて、近隣はじめ一般の方がたに楽しんでいただくと同時に仏教精神の涵養と仏教文化継承を目的とし、平成 24 年 4 月から当協会の主催として「三田落語会」を開催運営している。

平成 28 年度もこの落語会を継続し、年 6 回（昼・夜 2 部構成）の公演を企画、運営する。平成 28 年度の開催予定日は次の通り。

平成 28 年 4 月 23 日(土)、6 月 25 日(土)、8 月 27 日(土)、10 月 22 日(土)、12 月 17 日(土)、平成 29 年 2 月下旬(土)。

4. 貸し会議室事業に関する事項

◇公益目的事業としての施設の貸与事業について

仏教伝道センタービルの施設を有効活用し、公益目的事業として施設の貸与事業を行う。当協会が公益財団移行後に公益目的として掲げる“豊かな人間性を育て、より良い社会の形成を促進しもって人類の幸福と世界平和の実現”に貢献する事を目的とした会議等を開催する公益法人、社会福祉団体、NPO 法人、市民団体等を優先し、通常（一般）は 3 ヶ月前からの予約受付に対し、6 ヶ月前から予約を受け付け、通常（一般）価格の半額で貸出し、多くの公益目的事業を側面から支援することによって、社会貢献する。

II. 収益事業計画（収 1）

◆収益事業としての施設の貸与事業に関する事項

仏教伝道センタービルの施設における公益事業目的で当面使用予定のない空きスペースならびに空き時間を一般に向けて貸与する事業を平成 28 年度も継続して行い、利益のうち 50% を公益目的事業に寄付する予定である。

III. その他

本事業計画に掲げるもののほか、この法人の目的達成のため、必要と認める事業を行う。

以 上